

すぐに尿意をもよおしたり、排尿時に痛みを感じたりするぼうこう炎。生活習慣を改善することが予防につながる。広島泌尿器科医会世話人で、すみいクリニック（広島市佐伯区）院長の角井徹医師（57）に治療と予防について聞いた。（治徳貴子）

この病気 この治療

ぼうこう炎



すみいクリニック院長
角井徹さん

か。一どのような病気です

トイレに行きますが、何も出ません。残尿感もあります。一方、男性に多いのは慢性複雑性ぼうこう炎。治療に時間がかかります。症状は急性単純性のように頻尿や痛みがある場合もありますが、症状がはつきり出ないこともあ

ストレスで免疫が落ちて、女性尿道は約4センチにまつず。外部からの菌も尿道を伝ってぼうこうに届きやすい構造のため、注意が必要です。

慢性複雑性は、糖尿病や前立腺肥大症などの基

尿の我慢で細菌増殖 基礎疾患の治療重要

ぼうこうに細菌が入ります。

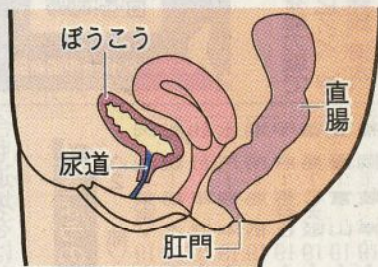
り、粘膜が炎症を起こします。一般的なのは、ある日突然かかる急性単純性ぼうこう炎。女性がよくかかります。排尿の最後に、しみるような痛みが走ります。頻尿になり、うちに尿意をもよおして

原因は、急性単純性の場合、尿の我慢です。ぼうこうには細菌感染を予防する働きがありますが、尿を我慢したため、細菌が増え、炎症が起きます。尿は菌にとつて栄養が豊富なのです。風邪や

基礎疾患が原因で免疫力が落ちていることが背景にあります。

診断と治療はどう進めますか。

採取した尿の沈殿物を400倍の顕微鏡で見れば、白血球が5個以上あれば、ぼうこう炎です。急性単純性は、抗生物質を



が必要です。免疫力を落とさないために、疲れをためず、体を冷やさないことも大切。クランベリージュースには、大腸菌付着を防ぐ作用があるので、飲むとぼうこう炎にかかりにくいといわれています。

3日間飲めば症状は取れますが、再発防止のために計5日間飲みます。

慢性複雑性は抗生物質を最低5日間は飲みます。ただ、ぼうこう炎を起こしやすくしている基礎疾患の治療を進めることも重要です。

「ぼうこう炎は1度かかったら何度もかかる」と言われますが、ぼうこう炎自体が癖になりやすいのではありません。原因をつくっている生活習慣を改めることが大切で、1日5、6回の排尿

「ぼうこう炎」についての質問・相談を募集します。郵便、ファクス0822(291)5828、メールkurashi@chugoku-np.co.jpで、中国新聞文化部「この病気この治療」係まで。掲載は匿名ですが、住所、名前、年齢、性別、連絡先を明記してください。